

# 総

# 説

## 1. 職員現員数

55. 10. 1 現在

区 分	総務課	漁場 開発科	飼養科	海洋 資源科	境港分場	試 験 船	
						第1鳥取丸	第2鳥取丸
場 長	1						
課・科・分場長	1	1	1	1	1		
課 長 補 佐	1						
主 任 ・ 主 事	1						
専 門 技 術 員	1						
運転士(自動車整備士)	1						
研 究 員		2	4	2	1		
船舶乗組職員						13	4
計	6	3	5	3	2	13	4

## 2. 事務分掌

55. 10. 1 現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	兜 金 幸 男	場の総括
総 務 課	課 長	岡 村 恵 太 郎	人事・予算・庶務等の総括
	課長補佐	松 田 公 道	予算・経理
	主 任	牧 野 節 子	給与・文書
	自動車 整備士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
	専 門 技術員	井 上 忠 雄	水産業改良普及活動の指導・援助
漁場開発科	科 長	小田切 忠 夫	浅海漁場開発・砂浜生物放流試験等科の総括
	研究員	俵 正 夫	沿岸漁場造成・大規模増殖場造成・海域総合開発調査
	”	渡 部 俊 明	藻類種苗生産・磯場造成試験
飼 養 科	科 長	小 林 啓 二	栽培漁業センター設置・種苗量産等科の総括
	研究員	梶 川 晃	貝類種苗量産技術試験
	”	平 本 義 春	魚類種苗量産・餌料培養試験
	”	松 本 勉	内水面養殖技術指導・魚病研究試験
	”	三 木 教 立	魚貝類種苗生産技術試験
海洋資源科	科 長	野 沢 正 俊	沿岸重要資源生態調査・浮魚礁設置技術試験等科の総括
	研究員	西 田 輝 己	餌料生物調査・人工礁漁場造成事業調査
	”	山 本 達 雄	沿岸漁海況・漁場環境調査・日本海ズワイガニ増殖技術試験

	職名	氏名	分掌・事務
境港分場	分場長	佐野 茂	以東底魚・200カイリ水域内資源・底魚漁場調査等分場の総括
	研究員	川口 哲夫	沖合漁海況・浮魚資源・浮魚漁場調査
第1鳥取丸	船長	早野 一成	第1鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	大西 宏好	” 機関管理
	航海士	前田 勝美	” 漁労機器等の維持保全
	”	小谷 弘文	” 乗組
	”	川西 恒信	” ”
	機関士	浜田 利幸	” ”
	”	宮脇 富士男	” ”
	通信士	松本 仁	” 無線機器等の維持保全
	船員	宇野 巍	” 乗組
	”	吉沢 盛夫	” ”
	”	山下 秀実	” ”
	”	岩崎 光真	” ”
”	森脇 隆志	” ”	
第2鳥取丸	船長	西山 勇二	第2鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	堀 芳明	” 機関管理
	機関士	田中 洵	” 漁 <del>具</del> 等の維持保全
	航海士	沢 富一	” 船内電気機器等維持保全

### 3. 事業別予算

事業名	予算額(千円)	摘要
水産試験場費	76,808	
管理運営費	15,583	
一般管理費	8,306	単県
施設維持管理費	7,277	単県
試験研究費	48,972	
資源生態調査費	5,328	
浮魚資源調査費	680	国委 10/10
以東底魚資源調査費	855	国委 10/10
沿岸重要資源生態調査費	572	単県
200カイリ水資内漁業資源調査費	3,221	国委 10/10

事業名	予算額(千円)	摘要
漁場環境調査費	4,362	
沖合漁海況調査費	1,486	国補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	811	単県
餌料生物調査費	865	単県
組織的調査研究活動推進事業費	1,200	国補 $\frac{1}{2}$
漁場開発試験調査費	26,517	
浮魚礁設置技術開発試験費	16,814	国委 $\frac{10}{10}$
浮魚漁場調査費	4,119	{ 単県 収入
底魚漁場調査費	4,018	{ 単県 収入
沿岸漁場造成技術開発試験費	1,566	{ 単県 国委 $\frac{10}{10}$
増養殖技術開発試験費	12,765	
磯場増殖試験費	607	単県
藻類種苗生産技術試験費	248	単県
砂浜生物放流技術開発試験費	1,800	国補 $\frac{1}{2}$
種苗量産技術研修事業費	5,400	国補 $\frac{1}{2}$
栽培漁業技術研修事業費	600	国補 $\frac{1}{2}$
内水面増殖試験費	1,950	単県
日本海ズワイガニ増殖技術開発試験研究費	2,160	国補 $\frac{1}{2}$
漁民研修事業	155	単県
船舶維持費	12,098	
第1鳥取丸維持管理費	6,840	単県
第2鳥取丸維持管理費	1,858	単県
第1鳥取丸漁業試験船設計費	3,400	単県